

第233回 教育研究評議会議事要録

日時 令和5年12月19日(火) 15時30分～16時15分
場所 大学本部棟5階第1会議室

出席者

(評議員) 中村学長、黒澤・奥田・茅・片田・市川・木内・小林 各理事、塙・岩崎 副学長
服部・小泉・中山・鈴木 各学域長、幸田附属図書館長
田中・大塚・谷口・郷・武井・大山・川村・飯山 各教授
(列席者) 長谷川・小谷・岸上 各学長補佐、齋藤監事
志村・土屋・深澤・壬生・窪田・望月・石原 各部長
中村・植村・望月・岩元・大森・千野・加勢・石井 各課長

議事要録確認

第232回教育研究評議会(R5.11.21開催)議事要録を確認した。

報告事項

- 1 大学運営に係る執行部と学域との意見交換会の実施結果報告について
黒澤理事から、資料1により、標記意見交換会の実施結果について報告があった。
中村学長から、同結果を各学域で確実に周知するよう指示があった。
- 2 令和6年度特別選抜(学校推薦型選抜及び総合型選抜)志願状況について
奥田理事から、資料2により、標記志願状況について報告があった。
中村学長から、志願倍率の低迷については様々な要因があるため、アドミッションセンターと各学域が協力して分析し、対策を検討願いたい旨の指示があった。また、志願倍率向上のためには大学を知ってもらうことが重要であることから、広報活動を強化していきたい旨の発言があった。
- 3 研究環境等に関するアンケート調査について
茅理事から、資料3により、標記アンケート調査を実施することについて報告があった。
中村学長から、アンケートは回答期限を設けた上で、全員に回答してもらうよう各学域及び研究者に対し確実に周知するよう指示があった。
- 4 査読における不適切な行為の防止について
茅理事から、資料4により、標記に関する通知が文部科学省からあったことについて報告があった。
併せて、各学域長等は、本件について所属する研究者に確実に周知するとともに、研究倫理教育の一層の取組強化をお願いしたい旨の発言があった。
- 5 マイナンバーの登録について
片田理事から、資料5により、文部科学省共済本部から共済システムへのマイナンバー未登録を速やかに解消するよう依頼があったことについて報告があった。また、未登録者が多い部門については、部門内の会議等で周知していただきたい旨の補足説明があった。

6 安全保障貿易管理の法令順守について

市川理事から、資料6により、標記法令順守について改めて学内周知することについて報告があり、併せて、様々な事案に対して速やかに対応できるよう問答集等を作成し対策していく旨、説明があった。

奥田理事から、工学系大学院入試において関連事案があった旨の補足説明があった。

審議事項

1 令和6年度山梨大学・読売新聞社共催連続市民講座（案）について

奥田理事から、資料7により、標記講座の開催について説明があり、審議の結果、これを承認した。中村学長から、講演推薦者については、各分野の現代的な課題や本学の強みの研究をベースに推薦した旨、補足説明があった。また、今後は、中高生、一般市民及び企業向けに新たな講座を検討していく旨の発言があった。

2 大学管理スペースの使用許可（案）について

市川理事から、資料8により、標記使用許可について説明があり、審議の結果、これを承認した。

3 電子ジャーナルに係る転換契約の拡大による負担金の徴収（案）について

幸田図書館長から、資料9により標記負担金の徴収について説明があり、審議の結果、これを承認した。

その他

片田理事から、工学部における盗難事案について報告があり、今後は学内に立入る工事業者に対しても注意喚起を行う旨、説明があった。

また、関連して、市川理事から、山梨大学工事安全規則を作成すること、工事日程について事前周知する等の対策をとる旨の補足説明があり、各自貴重品の管理を徹底していただきたい旨の発言があった。

※次回は、令和6年1月16日（火）15時30分からの開催を確認した。